

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式1

No. 10050010

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	6 下水道事業会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成32年度迄 A=221ha 全体計画事業費C=8,419,800千円
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度	A	
単位施策	2 下水道の普及促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町公共下水道事業	見直し年度		
事業期間	平成30年度～令和4年度	担 当 年 度	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	管渠延長・更新対象施設数		#N/A	
事業目標	147.2m・11箇所・2施設	ハード／ソフト事業区分	1 ハード事業	
町民参加	無	関係例規・法令名	無	
町民協働		関係個別計画名	有 雄武町公共下水道事業計画， 雄武浄化センター長寿命化計画	

全体計画 事業内容		平成30年度 事業内容	令和元年度 事業内容	令和2年度 事業内容	令和3年度 事業内容	令和4年度 事業内容	
計 画 内 容	◆管渠 ・雄武公共下水道事業計画変更 ・宮下地区(中沢・本間宅):実測調査L=120m, 管渠工事L=94.8m ・魚田地区管渠布設工事L=52.4m ・マンホール蓋更新設計,マンホール蓋更新工事N=11箇所 ・可搬型発電機購入 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新工事監理 ・処理場機器改築更新単価策定 ・ストックマネジメント計画策定 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新単価策定 ・ストックマネジメント計画策定 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	◆管渠 ・宮下地区 L=120m 実測調査 ・宮下地区 L=94.8m 管渠工事 ・魚田地区 L=52.4m 管渠工事 ・可搬型発電機購入 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新工事監理 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	◆管渠 ・雄武公共下水道事業計画変更 ・マンホール蓋更新実施設計 ・マンホール蓋更新工事 N=4箇所 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新工事監理 ・処理場機器改築更新単価策定 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	◆管渠 ・ストックマネジメント計画点検 ・マンホール蓋更新工事 N=4箇所 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新工事監理 ・処理場機器改築更新単価策定 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	◆管渠 ・マンホール蓋更新工事 N=3箇所 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新工事監理 ・処理場機器改築更新単価策定 ・ストックマネジメント計画策定 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	
	事業費(千円)	610,938	57,000	42,538	196,600	132,600	182,200
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	302,200	29,000	10,000	98,400	66,800	98,000
	道支出金	0					
	地方債	263,100	16,000	27,900	80,200	61,800	77,200
	その他	22,818	6,000	2,318	9,000	2,000	3,500
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	38,378	28,379	9,999			
	道支出金	0					
	地方債	43,700	15,800	27,900			
	その他	7,657	5,874	1,783			
特定財源の名称							
◎国庫支出金 ・社会資本整備総合交付金 1/2, 5.5/10	【評価・実績】	(実施内容等) ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新単価策定 ・ストックマネジメント計画策定 ・舗装補修工事 ・公共樹設置工事	(実施内容等) ・宮下地区 L=120m 実測調査 ・宮下地区 L=94.8m 管渠工事 ・魚田地区 L=50.6m 管渠工事 ・可搬型発電機購入 ・処理場機器改築更新工事、工事監理 ・舗装補修工事、公共樹設置工事	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
◎地方債 ・下水道事業債 100% ・過疎債 100%		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
◎その他 ・一般会計繰入金							
第5期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値 1施設	147.2m・1施設	4箇所・2施設	4箇所・2施設	3箇所・2施設	
後期計画への継続 (継続有り)		年度達成率 98%	98%	0%	0%	0%	
		全体達成率 9%	16%	16%	16%	16%	
		備考欄					

事業名	雄武町公共下水道事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	下水道係長	下斗米 勇

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民、公共下水道施設		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	管渠延長・更新対象施設数		
抱える課題やニーズ	公共用水域の水質悪化及び快適な居住環境の確保			指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	公共用水域の水質保全や快適な居住環境				① 管渠延長(目標値)/管渠延長(実績値)	目標年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	公共用水域の水質保全及び居住環境の向上				目標値	147.2 m
				実績値	145.4 m	
				達成度	98.8 %	
				② 更新対象施設数(目標値)/更新対象施設数(実績値)	目標年度	令和元年度
					目標値	1 施設
					実績値	1 施設
					達成度	100.0 %
内容(どのような手段で何を行ったか)	民間業者による本工事・実施設計等の実施	入札等により民間業者に本工事・実施設計等を発注し、雄武町公共下水道事業を実施した。				
	下水道ストックマネジメント改築・修繕計画に基づく更新の実施	下水道ストックマネジメント改築・修繕計画に基づき、効率的に雄武浄化センターの機器更新を行った。				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公共用水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	雄武町公共下水道ストックマネジメント改築・修繕計画に基づき、雄武浄化センターの延命化を図るため計画的に機器の更新を行った。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	雄武浄化センター機器更新時に省エネタイプの機器を選定し、雄武浄化センターのランニングコストを抑制出来たことから、効率的であると判断する。また、管渠布設工事についても、塩ビ製マンホールを採用することで事業費抑制が図れた。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	公共下水道供用開始区域の住民から整備費の一部として、受益者負担金を徴しており、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公共用水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには必要な事業であり、今後も計画通り事業を進める事が必要であると判断する。		

今後の展開方向 (Action) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div>		
継続/現状維持		
公共下水道の未普及地域解消並びに下水道ストックマネジメント計画に基づき更新を実施し、下水道施設全体の延命化を図るためには現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

事業名	下水道広域化推進総合事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	下水道係長	下斗米 勇

様式1
令和元年度実施
令和2年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	興部町、西興部村及び雄武町のし尿処理		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	施設建設数	
抱える課題やニーズ	西紋別地区環境衛生センターの老朽化に伴い、施設の建設コスト及び維持管理面で優れていることから、興部町、西興部村及び雄武町のし尿を雄武浄化センターで集約処理する必要が生じた。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
どのような状態になることを目指したのか(意図)	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等の安定処理		① 施設建設数(目標値)/施設建設数(実績値)	目標年度	令和元年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を雄武浄化センターで集約処理するためのし尿受入施設の建設			目標値	1施設
内容(どのような手段で何をを行ったか)	民間業者による建設工事・工事監理等の実施	入札等により民間業者に建設工事・工事監理等を発注し、下水道広域化推進総合事業を実施した。	②	実績値	1施設
				達成度	100.0%
				目標年度	令和元年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を安定処理するためには、2町1村のし尿等を受入可能な雄武町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	令和元年度の交付金配分額の減額に伴い、令和元年度予定事業の一部を令和2年度に移行したが、令和3年4月の施設共用開始に向け事業が進捗していることから、目標をほぼ達成したと考える。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	し尿受入施設建設工事の機械・電気設備を令和元年度から令和2年度の2か年施工としたことで、単年での発注と比較して経費を削減出来た。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を集約処理する施設であるため、人口割及び投入割で施設建設費用を負担するため、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
興部町、西興部村及び雄武町のし尿等を安定処理するためには必要な事業であり、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
し尿受入施設の建設は、し尿等を安定処理するために必要な事業であるため現状維持が適当である。			

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10050030

政策目標	4	【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	6	下水道事業会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	上・下水道の整備	事 業 優 先 度	A		
単位施策	2	下水道の普及促進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町公共下水道施設維持管理事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成30年度～令和4年度		担 当 年 課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町		関 係 課	4	住民生活課	
事業指標	公共下水道施設の事故発生件数			#N/A		
事業目標	事故件数0件		ハート／ソフト事業区分	1	ハード事業	
町民参加	無		関係例規・法令名	無		
町民協働	無		関係個別計画名	有 雄武町公共下水道事業計画， 雄武町MICS事業計画		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 30 年度 事 業 内 容	令 和 元 年 度 事 業 内 容	令 和 2 年 度 事 業 内 容	令 和 3 年 度 事 業 内 容	令 和 4 年 度 事 業 内 容
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備 ・雄武浄化センター及びコンポスト施設機器分解整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備 ・雄武浄化センター及びコンポスト施設機器分解整備 ・包括的民間委託レベル変更検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備
	事業費 (千円)	299,072	52,900	50,458	50,714	72,500
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	168,686	26,300	25,229	25,357	45,900
一般財源	130,386	26,600	25,229	25,357	26,600	26,600
実 績 事 業 費	事業費 (千円)	103,036	52,596	50,440	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	51,518	26,298	25,220			
一般財源	51,518	26,298	25,220			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	◎その他	【 評 価 ・ 実 績 】	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備 ・雄武浄化センター及びコンポスト施設機器分解整備 ・包括的民間委託レベル変更検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・雄武浄化センター維持管理 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・雄武浄化センター汚泥運搬 ・下水道台帳整備 		
	・一般会計繰入金					
	・下水道広域化推進総合事業負担金					
第5期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	事故発生件数0件	事故発生件数0件	事故発生件数0件	事故発生件数0件	事故発生件数0件
後期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	99%	100%	0%	0%	0%
	全体達成率	18%	34%	34%	34%	34%
	備考欄					

事業名	雄武町公共下水道施設維持管理事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	下水道係長	下斗米 勇

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	公共下水道施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	事故発生件数		
抱える課題やニーズ	公共下水道施設の維持管理		① 事故発生件数(目標値) / 事故発生件数(実績値)	目標年度	令和元年度
どのような状態になることを目指したのか(意図)	公共下水道施設の適正な維持管理			目標値	0件
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	公共下水道施設の安定稼働及び維持管理経費の削減		実績値	0件	達成度
内容(どのような手段で何をを行ったか)	民間業者による維持管理業務等の実施	入札等により民間業者に維持管理委託業務等を発注し、雄武町公共下水道施設維持管理事業を実施した。	②	目標年度	令和元年度
	包括的民間委託レベルの変更		目標値		
			実績値		達成度

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部

公共用水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには、町が担う必要がある。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	公共下水道施設の快適な維持管理及び消耗部品の取替を含む分解整備により下水道施設を安定稼働出来たことから、目標を達成したと考える。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	包括的民間委託内容を変更し、雄武浄化センター維持管理委託業務に機器分解整備を加えたことにより、維持管理経費の節減及び事務作業の軽減が図れたことから、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	公共用水域の水質保全、快適な居住環境の確保が図られたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
下水道施設の適正な維持管理及び施設の延命化を図るため機器の分解整備を計画通り行った。今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
公共用水域の水質保全、快適な居住環境の確保のため、公共下水道施設の維持管理は必要であり、現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 前 期 実 施 計 画 書 兼 事 務 事 業 事 後 評 価 調 書

様式 1

No. 10050040

政策目標	4 【快適感を満たす環境のまち・雄武】～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	6	下水道事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 上・下水道の整備	事業優先度		B	
単位施策	2 下水道の普及促進	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町公共下水道普及促進事業	見直し年度			
事業期間	平成30年度～令和4年度	担当課	10	建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課		#N/A	
事業指標	①イベント時来場者数 ②PR広報誌の発行数 ③水洗化率の向上	ハード／ソフト事業区分	2	ソフト事業	
事業目標	①100人以上／年 ②2回以上／年 ③0.1%以上／年	関係例規・法令名	無		
町民参加	有	関係個別計画名	無		
町民協働					

全体計画 事業内容		平成 30 年度 事業内容	令和 元 年度 事業内容	令和 2 年度 事業内容	令和 3 年度 事業内容	令和 4 年度 事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の日イベント開催 ・下水道PR広報誌の発行 ・未水洗化世帯に対する水洗化意向調査 ・マンホールカード導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の日イベント開催 ・下水道PR広報誌の発行 ・未水洗化世帯に対する水洗化意向調査 ・マンホールカード導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の日イベント開催 ・下水道PR広報誌の発行 				
	事業費(千円)	550	150	100	100	100	100
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	550	150	100	100	100	100	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	193	99	94	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	193	99	94				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の日イベント開催 ・下水道PR広報誌の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の日イベント開催 ・下水道PR広報誌の発行 			
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
			B-継続／現状維持	A-継続／現状維持			
	第5期計画からの継続	年度目標値	①100人以上／年 ②2回以上／年 ③0.1%以上／年	①100人以上／年 ②2回以上／年 ③0.1%以上／年	①100人以上／年 ②2回以上／年 ③0.1%以上／年	①100人以上／年 ②2回以上／年 ③0.1%以上／年	①100人以上／年 ②2回以上／年 ③0.1%以上／年
	年度達成率	66%	94%	0%	0%	0%	
後期計画への継続	全体達成率	18%	35%	35%	35%	35%	
	備考欄						

事業名	雄武町公共下水道普及促進事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	下水道係長	下斗米 勇

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

誰、何が(対象)	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	イベント来場者数・PR広報誌の発行数								
抱える課題やニーズ	公共下水道水洗化率の伸び悩み	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか(意図)	公共下水道水洗化率の向上	① イベント来場者数(目標値) / イベント来場者数(実績値)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100人以上</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>118人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>118.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	100人以上	実績値	118人	達成度	118.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	100人以上										
実績値	118人										
達成度	118.0%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	下水道の日イベントやPR広報誌で公共下水道事業の、水洗化率の向上を図る	② PR広報誌の発行数(目標値) / PR広報誌の発行数(実績値)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和元年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	令和元年度	目標値	2回	実績値	2回	達成度	100.0%
目標年度	令和元年度										
目標値	2回										
実績値	2回										
達成度	100.0%										
内容(どのような手段で何をを行ったか)	下水道の日イベントの開催	下水道の日(9月10日)付近に雄武浄化センター一般開放イベントを開催し、施設見学や発酵污泥肥料の無料配布を行った。									
	下水道PR広報誌の発行	5月と1月の町広報誌発行時に下水道PR広報誌を折り込み、補助金制度及び資金貸付制度の周知を図った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	水洗化率の向上は公共下水道運営のため必要であり、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	下水道の日イベント及びPR広報誌の発行を予定通り行えたことから、有効であったと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	PR広報誌発行後に補助金制度及び資金貸付制度の問い合わせがあったことから、効果が得られたと判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	下水道の日イベントやPR広報誌での情報提供は全町民を対象に行っていることから、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公共下水道水洗化率の向上は使用料収入の増加に繋がることから必要な事業であり、今後も事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
公共下水道水洗化率の向上のため継続が適当であると判断する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止